

令和6年9月 教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和6年9月19日（木）午後2時00分から		
開催場所	田原本町役場 301 会議室		
出席者	教育委員会 （教育長）山田忠志 （教育長職務代理者）眞田和則 （委員） 岡本春江 榊井歌世 事務局 森教育部長 森川教育総務課長 安倍教育総務課付課長 小田生涯教育課長 吉村文化財保存課長 澤田図書館長 金澤指導主事 福辻指導主事 中山指導主事 奥谷教育総務課課長補佐		
欠席者	山田育弘		
開催形態	公開	傍聴者	1 名
次第	報第 11 号	令和6年田原本町議会第3回（9月）定例会の報告について	承認

議事の内容

教育長

ただいまより9月の教育委員会定例会を開会します。

本日は、委員1名欠席されていますが教育長含め4名の出席があるので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条の会議の開催要件である過半数の出席がありますので、会議が成立することを宣言いたします。

○報第11号 令和6年田原本町議会第3回（9月）定例会の報告について

教育長

それでは報第11号「令和6年田原本町議会第3回（9月）定例会の報告について」、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

教育長

ただいまの件につきまして、ご意見やご質問などありましたらよろしくお願いします。

榊井委員

給食センターになった後のことで、主婦の立場でおうかがいします。ご飯の給食が4日に増えるということで、昨今、巷では米不足で値段も上がってきています。世間的に米が足りなくなっても、給食分は契約時に確保されているのでしょうか、また値段も据え置きなのでしょうか。

教育総務課長

量については、当初契約時に年間使用分を確保していますので、不足することはありません。ただ、金額については、諸事情により上がることはあります。

榊井委員

ということは、自動的に給食費も上がるということになりますか。

教育部長

昨今、米だけではなく、おかずの材料、野菜など全て値上がりしています。その中で給食費を上げないよう、栄養士は材料費を保つようにできる限り努めていますが、昨今の高騰に対応するのは難しい状況になってきています。学校給食法では材料費は保護者からの給食費で賄うことになっています。

眞田委員

4回に増えるのはどんな理由でしょうか。保護者からの要望などでしょうか。

教育部長

現在、米は奈良県産を使用していますが、町産にしてさらに地産地消を進めるという観点理由の1つです。また、パンには小麦が入っていますのでアレルギーを持つ児童生徒は食べられないという問題も、米はアレルギーを持つ児童生徒が非常に少ないという理由もあります。総合的に考えて、米飯を増やしていきたいと考えています。

教育総務課長

今回センター化するにあたって、今まで炊飯について委託していましたが、センター内で炊飯できるところを十分に活用していきたいというのも1つの理由です。

岡本委員

今、アレルギーを持つ子ども達への対応はどのようになっていますか。

教育総務課長

今、小学校の方では、施設的に場所を十分確保できないため卵のみの除去食を用意しております。センターになれば、これより多くの品目に対応した除去食として幅を広げたいと考えています。

除去食については、例えばお皿の色を変えて、最初に盛りつけた状態で配膳するなど、確実に他の給食と混じらない形での配膳を、他の市町村を参考にしながら検討していく予定です。

眞田委員

アスベスト調査業務とありますが、昔の校舎なのでアスベストを使用している可能性もありますが、何故、今検査をするのですか。検査により飛散しないかなど、保護者でアスベストという言葉にすごく敏感なられる方もおられるので気になりました。

教育総務課付課長

平成18年に飛散性があるアスベストに関して全ての幼小中学校で検査を実施しております。その時点で飛散性あるものは即座に除去工事をしました。今回の調査は、常時飛散はしないものの今後の解体工事に伴って飛散する恐れがあるアスベストが含まれているかどうかを調べます。例えば天井の一部に穴を開け、天井裏にアスベストがないか調べてから穴を塞ぎます。アスベストが含まれていれば、解体工事に別途除去費用を計上する必要があります。日常の子ども達には影響ありません。

眞田委員

アスベストがあった場合は仕方ないのですが、解体する時に子どもたちに影響はないか、保護者が一番心配すると思うので、説明があると良いと思います。

特別支援の取り組みについてはいろんなご質問があったと思いますが、特別支援に対する先生方の考え方とか専門性、取り組みや意欲等、いろんな面が大事になってくると思います。その辺りは夏休みに研修をされたということですが、参加の様子や研修での先生方の反応、またそのあと学校でどのように展開しているのか教えていただきたいです。

指導主事

特別支援教育に関わる研修につきましては、8月27日に青垣生涯学習センターにおい

て開催しました。講師には県の特別支援教育推進室の通級アドバイザーをお招きしました。各校から想定以上の参加をいただいて、限られた時間でしたが特別支援に対する考え方、子どもたちにとってどういうところが困りごとなのか、その困りごとに対して指導する立場の先生はどのように接していったらいいのかを研修しました。今後に生かしていただこうと思います。

眞田委員

どこの学校の先生も参加されたのですか。

指導主事

学校によって、学校行事との兼ね合いもあって多い少ないがありましたが、参加総数は50名です。他の内容につきましても研修会を開催しており、各校最低3名以上の参加、多いのはいくら多くても構わないとお知らせしていたところ、25名から27名の参加をいただいていた。特別支援教育の研修会については50名と倍近くになりました。

教育長

指導主事もかなり働きかけてもらっていて、また学校の中でも研修へと押し出してくれる相乗的な働きかけがあったと思います。

教育長

他、ありませんでしょうか。では、報第11号については以上といたします。

○その他

教育長

その他の案件に移ります。委員の皆さまから何かご意見等よろしく願います。

岡本委員

ある中学生のこどもを持つ保護者さんとお話しをさせていただきました。不登校のこどもでも学校に行けるようなサポートルームを開いてもらえていることはありがたいのですが、やっと家から出てせつかく学校に行くことができたのに、給食は各々の教室で食べるということなので午前中でサポートルームを閉めるから帰ってくださいと言われてしまったと聞きました。親としては弁当を持たせてでも少しでも長く学校にいてほしいと思っているし、9月から少し体制が変わると聞き期待していたけれど全然変わっていないことに驚いておられました。また、その生徒が長く学校にいて、何かのきっかけで教室に行ってみようという思いを持ってくれないかと、保護者は送り出しているけれど、今の体制では先生の数足りないかもしれませんが、一度考えてほしいという話がありました。

指導主事

数年前までは教員の時間を調整して担当を充てていました。授業時間に空きがある者が担当をするようにしていましたが、調製するのが難しい部分がありました。現況を把握していないので確認させていただきます。

眞田委員

9月から、特別支援や不登校の教室で指導される方にボランティアではなく報酬が出るというのは聞きましたが、それは退職校長の先生ですか、それとも支援員ですか。

教育総務課長

今回、いつ子どもたちが入ってもいいよう9月から支援員を配置しております。田原本中学校のみですが1日6時間です。

眞田委員

先生以外の支援員さんが入ってくれているわけですね。ある程度、先生の負担は軽減されていると思いますが、柔軟に対応していけば不満が起こらないと思います。その辺りの意識というか、熱意に関しては前々から言っているのですが、不登校のことは家から出てくるだけでも大変で、教室に居場所がないから、サポートルームに行ったり、昔なら保健室登校であったり、その気持ちを大事にしてあげたいのに、この対応に寂しく思います。そういったことに対して柔軟な対応ができていないから、不登校が増えるのかなと思います。教室に復帰することだけが解決ではありません。管理職も含め、先生方全体の不登校に対する勉強不足や熱意不足ではないかと感じます。委員会が保護者における不満とか怒りを学校に対しても伝えていかなきゃいけないと思います。各学校に不登校に対して中心となるコーディネーターのような人材を配置し、その人たちを集めて、研究、勉強会や研修をして、それを学校へフィードバックして広めていく、何とかして意識レベルを変えていかなければいけないと思います。

岡本委員

とにかく、学校に行けたことをよしとするところから始めないことには、やすらぎ教室を設けて青垣で勉強しましょうっていうのと実際に学校に行くのとは全然違うと思います。みんなと同じで体操服とか制服を着て学校に登校する、教室は違うけどその教室に行く、そして帰ってくるという、その毎日だけでも少しでも充実してもらえんと思います。

教育長

おっしゃるように、旧来の保健室登校のときの名残があつて学校へ来てくれるなら担任やクラスメイトのもとへという思いがあると思いますが、今の時間を大事にして欲しいという切なる願いを勘案したということで、お預かりしました。

眞田委員

保護者の声が教育委員を通してこの場に出てきたということは、似たような思いを持たれている方が他にもいらっしゃるかもしれません。そういう声が教育委員会に出て、教育委員もこう言っていたということを、校園長会などで伝えていただいて、現場の先生たちにも伝わればと思います。別に責めているわけでもないし、こういった声もある、ということを知っていただきたい。

教育長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。では事務局から連絡をお願いします。

(次回の教育委員会の開催予定の説明)

教育長

これをもちまして9月の教育委員会定例会を終了いたします。

ありがとうございました。

午後2時55分 閉会

田原本町教育委員会

教育長 山田 忠志